



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2017/10/5発行

第28号

卒業生
成長ストーリー

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします



地球市民を育てるグローバル教師！ それが私の夢です



日本ベンジャミン人間性英才学校1期生の眞坂カイ君が、海外留学予定者に事前教育を提供しているHIUCヒューマン国際大学機構の入学試験を受け、主席で入学しました。



日本ベンジャミン人間性英才学校
1期卒業生 眞坂カイ君 ☆

眞坂君は現在高校3年生で、ベンジャミン学校で過ごした経験から、アメリカ・ニューヨークの大学に進学しようと準備を行っています。地球市民という新たなグローバル基準にふれ、そのような大きな視野と心を持った子供たちを育てる教師になるのが、彼の夢です。

もともとは何かをするときに、いつも不安・遠慮、恐れが頭をよぎり、本当に言いたいことが言えなかったり、本当にしたいことが出来なかったりしました。そんな彼を変えたのがカリキュラムの基盤になっている、脳教育のBOS法則(※1)です。眞坂君はそれを文字通り今回の試験の中で経験したそうです。

「入学試験は問題文も全て英語でわからないところがたくさんあり、途中で諦めようかとも思いました。しかし、そこで自分の脳(考え)を明るくして私と社会と地球を生かすためにこの入学試験を受けているんだ！」

「できる！できる！」と言い聞かせながら問題を解きました。

ベンジャミン学校に入って変わったことはたくさんありますが、その中で一番良かったことは「選択すれば成し遂げられる」ということが体得できたことです！本当に自分が望む道を選択した時に遠慮、不安、恐れ、悲しみなどの感情を越えて常に大きな目標を持って行動することができます。私はいつも障害に直面すると恐れや不安などの感情が出てきてしまいます。しかし、自分の大きな目標を思い出して感情に落ちず試験に取り組んだ結果、トップの成績で入学できました！」

誰もが試験の最中にもうダメかもしれない、と思ったことが1度や2度はあることでしょう。しかし、そこで不安なまま試験を受けるのと、「私はできる！」と自分を励まして最後まで諦めずに頑張るとは大きな違いがあり、分かっているてもできない人が多いのです。

眞坂君のように、自分の脳にグットニュースを伝えて、最大

限努力した時、「選択すれば成し遂げられる」というBOS法則が現実になります。日本ベンジャミン人間性英才学校では、これからも脳教育を通して、自己実現できる生徒を育成していきます。

(※1)BOSはBrain Operating Systemの略称で、パソコンを動かすためのOSのように、脳を活用するためのオペレーティングシステムです。選択すれば成し遂げられる、「グットニュースがグットブレインを作る」など、5つの法則があります。

ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。

5無
Nothing



校舎 教科授業 テスト 成績表 宿題